



ひだまり

理事長あいさつ

第10号

新型コロナウイルス禍のため、中止していた「ゆーあい工房まつり」が、5月21日に規模縮小しながら、4年ぶりの開催となりました。ご協力・ご支援を頂いた全ての皆様に心から感謝を申し上げます。新型コロナ感染症が、5類に移行されましたが、収束したわけではありませんので、感染対策はこれからも継続しなければなりません。

しかし、昨年まで中止や規模縮小した各種事業は、今年は創意工夫を凝らし、保護者会との連携を密にしながら実施したいと考えております。

本年度の新企画は、6月21日～26日まで開催した「四季を感じる作品展」でした。栃木市蔵の街大通りにある「蔵の街市民ギャラリー」で、生活介護事業で作成した「ちぎり絵」の展示と、工房利用者の水彩画・さをり織り作品が展示され、多くの皆さんが観覧してくださいました。また、工房で製作された木工品や菓子類等の販売を行い、「ゆーあい工房」の認知度向上に少なからず貢献できたのではないかと思います。

また、(仮称)うまぐりの里第2グループホームの建設は、多くの皆様や関係企業等の協賛を頂き、開所を目標に進行しております。

諸般の事情による物価高騰のため、建設費用は当初予算を越えそうですが、入居予定利用者の希望を叶えるため、更なる努力を惜まず邁進しなければなりません。

皆様のご協力・ご支援を重ねてお願い申し上げます。

うまぐりの里理事長 岩川 和男

保護者会長あいさつ

法人関係者の皆様には、日頃より保護者会の活動にご理解とご協力を頂き大変有難うございます。

昨年度も、コロナの影響で多くの保護者会事業が中止あるいは利用者と職員だけでの実施となってしまいましたが、感染対策が若干緩和された3月4日(土)に3年ぶりとなる秩父方面への親睦日帰り旅行を参加者65名で実施しました。当日は、旅行支援のクーポン券でお土産を購入したり、テーブルに並びきれないような豪華な昼食を楽しみ、宝登山の蠟梅と梅の花を満喫することができました。久しぶりに職員、利用者と保護者で楽しい時間を過ごすことができました。

また、去る4月29日(土)に、ゆーあい工房ホールにて2023年度保護者会総会を開催致しました。当日はゴールデンウィークの初日に当たりましたが、多数の保護者の皆様にご参加を頂き議題の審議をすることができましたので、その内容についてご報告申し上げます。

今年度は、コロナ感染症の取り扱いが5類に引き下げられましたので、久しぶりに従来に近い事業計画を、ゆーあい工房の行事日程と連携させて決定させて頂きました。5月21日には4年ぶりとなる「工房まつり」が規模を縮小してではありましたが開催されました。また例年通り「運動会」「クリスマス会」、10月に行先等の詳細は決まっておりませんが、「親睦日帰り旅行」も計画致しました。それぞれの事業の実施日が近づきましたら改めてご案内を差し上げますので、その際にはご協力、ご参加下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

ゆーあい工房保護者会長 佐野 義晴

何が大切か今思う事

14年前栃木市に引っ越して来てから、娘は環境の変化に戸惑い、笑顔が見られなくなりました。私は、仕事中心で何もしてあげられない毎日。娘はまじめに根気よく作業に取り組み反面、ホルモンのバランスを崩すと焦燥感に駆られ、心が不安定になり、思いを怒りで表現するようになっていきました。社会性を育てるためにも、工房での経験は大切に、長い時間いろいろな面でサポートしてくれている支援員の方々に感謝です。

工房での生活で娘の心のやすらぎは、休憩時間に外に出て周辺を散歩することと知りました。帰宅後は、私にコーヒーやお茶を淹れてくれたり、私の頼みごとを毎日忘れずにやってくれる思いやりのある娘です。

沢山褒めて自尊心を育ててあげたい。明日も頑張れるよう、心が穏やかになるような言葉かけをしてあげたい。インドな私と違って、娘は外へ出掛けることが好きなので、ワクワクするような所に連れて行ってあげたい。プリンセスが大好きな娘に今年こそはディズニーランドに連れて行きたい。そうすることで、娘が前向きになって、笑顔がたくさん見られたらいいなと思いました。

大森裕子(胡桃母)



利用者紹介

今回は、佐野宙路さん・荒川和美さんのおふたりを紹介します。

・佐野宙路(ひろのり)さん

佐野さんは、毎日大きな声で気持ちよく挨拶をされ、みんなを明るい気分にしてくれます。生産活動では、木工作業に取り組み、やすりがけの作業を頑張り、綺麗に仕上げ活躍されています。

Q & Aのコーナー

- ・好きな給食のメニューは何ですか？
第1位ミートソーススパゲティ 第2位カレー 第3位親子丼です！
- ・趣味やお休みの日にしたいことは何ですか？
電車が好きです！休日は、電車の本やDVDを見ています！！

いつも元気でしっかり者の佐野宙路さんの紹介でした♪



・荒川和美さん

荒川さんは、いつも笑顔で明るく、みんなとお話をするのが大好きです。生産活動では、木工作業に取り組み、オスモカラーの塗り込みの作業と、やすりがけの作業を頑張り活躍されています。

Q & Aのコーナー

- ・好きな給食のメニューは何ですか？
第1位カレー 第2位ラーメン 第3位チャーハンです！
- ・趣味やお休みの日にしたいことは何ですか？
お買い物に出かけるのが好きです。イオンやスーパーに行くことが楽しみです！

誰とでも仲良く、とても優しい荒川和美さんの紹介でした♪



生活支援員 佐々木 竜也

キャリアパス研修



令和5年3月18日(土)に、施設長、支援員、相談支援専門員、世話人など全職員を対象に、キャリアパス研修を実施しました。栃木県政出前講座を活用し、「栃木県の障害者施策(障害者総合支援法の一部改正についてを含む)」という題目で、講師の「栃木県障害者権利擁護センター障害者差別解消相談員加藤 豊さん」から1時間程度の講義を受けました。

職員から、「栃木県障害者コミュニケーション条例という条例が、令和4年4月に制定されていたことを初めて知った。」、「地域にあるユニバーサルデザインについて改めて認識させられた。」、「思い込みがバリアになってしまっている。」、「令和6年4月から義務化される合理的配慮の提供について確認したいと思った。」など、様々な感想がありました。

今回の研修で学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思っています。

主任 川又 正久

ゆーあい工房の仲間たちが創る「四季を感じる作品展」

初めに、この度ゆーあい工房で初めての作品展が開催できましたことに、深く感謝いたします。たくさんの方のご協力のお陰で、仲間たちが一生懸命創った作品をたくさん展示でき、多くの方々に観ていただけて、本当にうれしく思います。

今回、作品展を開催することになったのは、生活介護事業が始まり5年が経ち、コロナの影響もあって出来上がった作品が、そのままになってしまっていたこと。施設長の提案で、蔵の街市民ギャラリーで作品展をやってみたらと声を掛けていただき、仲間たちの作品を見ていただける機会があるなら、と準備を始めました。

内容としては、生活介護の仲間たちで創ったちぎり絵・鳥羽宏昌さんの版画と水彩画・高橋未来さんのさをり織り・就労継続支援B型の仲間たちで創った木工品の展示と木工、菓子製品の販売です。どの作品も仲間たちが一生懸命作り、四季を感じる明るくて優しい作品ばかりです。ご来場された方からは、素敵な作品ですね、細かな作業ですね、と驚きの言葉や頑張ってくださいね、と応援の言葉をいただきました。

何より、このような言葉が仲間たちに届き、笑顔が見られて本当に良かったと思います。大変なこともたくさんありますが、このような機会を通して人との繋がりを感じ、仲間たちの頑張りを知ってもらえたこと、仲間たちがまた頑張ろうという気持ちが持てたことは本当にうれしく感じました。

これからも、今の気持ちを大切に、みんなで楽しく協力して頑張っていきます。



生活支援員・赤堀美穂



保護者会親睦旅行「秩父・長瀬の旅」

3月4日(土)に親睦旅行で、埼玉秩父・長瀬方面に行きました。利用者、保護者、職員合計65名が参加しました。

3年ぶりの親睦旅行は、天候にも恵まれ、親睦行事が開催できずに我慢してきた皆さんにとって最高に楽しい旅行になりました。

まず、工房を出発し、群馬を經由しながら埼玉県立川の博物館へ向かいました。川の博物館では、川のジオラマや鉄砲堰の実演を見学したり、日本一大きな水車を見ながら散策などを楽しみました。

次に向かったのは、昼食会場のガーデンハウス有隣です。昼食は、地場の食材を使用した豪華な食事がテーブルいっぱいになり、美味しくいただきました。

たくさん食べた後は、宝登山散策です。ロープウェイ乗場までの長い坂道をみんなで頑張って歩き、ロープウェイで宝登山を登りました。宝登山では、小動物園や宝登山神社の散策、ロウバイや梅の花の観賞を楽しみました。売店でアイスクリームやジュースを買って嬉しそうな表情や、ロープウェイから見える景色に驚く表情など、たくさんの表情も見られて、気持ちの良い散策となりました。

最後に、「道の駅はなぞの」でお買い物タイムです。深谷のネギを使った商品や、新1万円札の顔になる渋沢栄一の商品などを、家族や友人、自分用にと目移りしながらお土産を選ばれていました。今回は、地域クーポン券が1人ずつに配られたので、買いすぎてしまった人もいたかも…。

久しぶりの親睦旅行は、新型コロナウイルス感染予防のため、バス車内での必要最低限の飲食にとどめていただくことや、こまめなマスクの交換など、皆さんのご協力があった実施することができました。ありがとうございました。

主任 川又 正久





5月21日(日)、ゆーあい工房にて4年ぶりに『ゆーあい工房まつり』を開催しました。

今回は、工房利用者・保護者・役職員とその家族までに限定させて頂き、コロナウイルス感染症の対策を続けながら、実施しました。

10時に開会し、10年勤続表彰式では、田村拓也さん、鈴木真弓さん、中村弥生さん、遠藤満広さん4名が、立派に表彰状を受け取られ、その姿は、皆さんとても誇らしかったです。

外テントの販売ブースでは、ゆーあい工房の木工・菓子製品の他、栃木市障害者施設協議会加盟のあゆみ園・K.connect・なすびの里・ハートフルふきあげの4事業所様にご協力頂き、製品をお預かりして、わくわく広場も開催しました。

ステージ隣の車庫では、特別価格のバザーもあり、活気に満ち溢れていました。バザーの製品も多くの方にご協力頂いて、21,330円の売り上げがありました！こちらはすべて新しいグループホームの建設資金として寄付させて頂きました。

ゆーあい工房の館内廊下には、生活介護事業の皆さんが製作したちぎり絵が展示され、四季折々の作品が会場を華やかに彩りました。

11時から、佐々木金蔵様のピアノ演奏会があり、皆さんゆったりと素敵な音色に耳を傾けられていました。佐々木様には、毎回、この工房まつりでピアノ演奏をして頂いており、今回も北海道から自家用車とフェリーに乗って来て下さいました。今回でなんと19回目！すごいですよね。久しぶりのおまつりでしたが、皆さまが笑顔で集まり、楽しいひとときを過ごせたことに感謝です。

生活支援員・大久保美穂

「つぶやき」

「皆さんの趣味は何ですか？」

私の趣味は、広大(ひろた)です。以前は「料理」「カラオケ」「読書」等、よく耳にする一般的な趣味を忘れていました。ある日、息子の学校行事で「川島さんの趣味は？」と問われた時に思い浮かばず、咄嗟に「広大です。」と応えていました。

息子が成長し、野球を始めてからは、仕事以外の時間はほぼ息子と過ごしています。休日なんて、ほぼ屋外に居て、夏場はほぼ100%真っ赤に日焼けします。首筋は、常に日焼けをして真っ黒です。「野球やらせるのは大変でしょう。疲れない？」と言われることが多いのですが、それが全然疲れません。息子の成長を一番身近で感じる事が出来る、今一番の喜びです。

これから息子は成長して、それと共に母親を疎ましく思い、きっと私と距離を置こうとしてくると思いますが、適切な距離を保ちながら成長を見守って行こうと思っています。その頃の私の趣味は何になっているんだろう…(笑)

相談支援専門員 川島 真智子



(株)クシダ様のご紹介

今、私たちが2030年までに達成すべき17の目標:SDGs(持続可能な開発目標)が掲げられています。ゆーあい工房でも何かできることはないか・模索する中、串田農林(現:(株)クシダ)様と出会いました。串田さんと言えば、昨年度、健康体操教室に参加されていた保護者の皆さんは、ピンときた方も多いのではないでしょうか。いつも元気いっぱいストレッチの方法等を教えてくださった串田先生。社長である息子さんとお2人で、佐野市閑馬町の広大な山を切り拓き、原木しいたけの栽培を中心に農林業をされています。山の中にズラリと整列した何千本もの原木は圧巻です。

かっこいい(こちらも1から手作りで建てられた)ログハウス風の事務所には、串田農林さんの看板が飾られています。これは、ご縁のきっかけとなった看板で、木工作業のレーザー加工と串田社長の手作りを組み合わせて制作しました。現在は『(株)クシダ』の看板に代わり、こちらも串田さんのアイデアでご注文いただき、コラボ制作しました!発想力と行動力に満ち溢れた若き経営者の串田さん。しいたけ栽培を行うにあたって、伐採した木や原木として使用した木も加工して再利用。山の資源を存分に活用し、『捨てるものは無い』というほど、環境への配慮を徹底されています。そんなお話を伺う中で、ゆーあい工房の木工作業で排出されている『かな屑』もペット用品として活用・販売ができるとの事。早速、串田さんにお話し、毎月かな屑を納品させて頂いています。

少しずつですが、ゆーあい工房も廃棄するものを減らし、SDGsに繋がる取り組みをどんどん進めていければと思います。



生活支援員・大久保美穂



補助金によるベルトサンダー購入について

令和4年度障害者就労継続支援事業所生産活動機能強化事業費補助金を受け、令和5年1月に木工作業で使用するベルトサンダー1台を整備しました。

初代のベルトサンダーは、平成10年4月にゆーあい工房が開所した時から約25年間頑張ってくれました。このところ、使っていると突然大きな異音が生じたり、削る面がずれてしまったりと不具合が多く、また、年数が経っているため、もう部品がなく修理することができないことから、入れ替える運びとなりました。

二代目のベルトサンダーになり、とても静かに、そして効率良く作業をすることができるようになりました。これから、今まで以上により良い木工製品の生産に活用していきたいと思っています。



主任 川又 正久

皆さんこんにちは。今回、菓子工房からは仲間たちと移動販売や配達で活躍している車のご紹介をさせていただきたいと思います。

この度、ゆーあい工房では販売や配達等に必要車両として、清水基金様よりハイゼットを寄付していただきました。この車両は、十分な収納スペースを持ちパン販売に最適な機能を備えています。この場を借りて、清水基金様に深く感謝の意を表します。

菓子工房では、仲間と協力しながら毎日たくさんの美味しいパンを焼いています。焼きあがったパンは一部を工房で販売していますが、ほとんどのパンは配達や移動販売に行った先でお客様の手に取っていただけることが多いのです。移動販売での仕事は、私たちに製造、販売、接客と多岐にわたるスキルを学ばせてくれます。関わる仲間たちは販売先で、地域の方々とコミュニケーションをとる事をとても楽しみにしており、出かける時には「いってきます！」と大きな声で挨拶をし、にこやかな表情で出かけてゆきます。

今後も、この車を最大限に活用し、仲間たちと協力し地域の人々に美味しいパンと喜びを提供していきたいと考えています。



生活支援員・小林 倫子(ともこ)



本格的にイベント販売再開しました



新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこともあり、今年度のイベント販売については、昨年度よりも多く参加できるよう取り組んでいます。今年度に入り、6月30日現在で、平日・休日のイベント販売は20を超えました。また、休日のイベント販売を中心に、保護者の皆様に販売ボランティアを募集し、多くの保護者の方にご協力をいただいております。改めてお礼申し上げます。

木工品を手にしたお客様が「かわいい、とても素敵」、「仕上がりがとてもいい」と言ってくれる。菓子商品を見て「おいしそう」「この前食べておいしかった」と言って買ってくれる度、これからもたくさんのお客様に喜んでもらえる商品を利用者の皆さんと一緒にがんばって作っていこうと思う今日この頃です。





初詣



いちご狩り



令和5年1～6月行事いろいろ



ハイキング



クラブ活動



職員人事異動について

- ◎退職 高橋民夫氏(ゆーあい工房生活支援員)3月31日付
マイクロバスの運転・配達業務・生活介護事業補助と多岐にわたりお世話になりました。
- ◎採用 磯部みよ子氏(ゆーあい工房生活支援員) 4月1日付
高橋清子(きよこ)氏(共同生活援助事業所なごみ家世話人) 7月1日付

法人役員等の改選がありました。宜しくお願いします。

◎役員(理事・監事)

理事長	岩川和男(再任)	理事	亀田幸夫(新任)
理事	岡田武夫(再任)	常務理事	中村君枝(再任)
理事	高瀬佑子(再任)	監事	内海裕介(再任)
理事	佐野義晴(再任)	監事	藤田正人(新任)

任期:令和5年6月18日～令和7年度定時評議員会終結の時まで

◎うまぐりの里評議員選任・解任委員

外部委員	中島賢二(再任)	監事	内海裕介(再任)
職員	川又正久(再任)		

任期:令和5年6月18日～令和7年度定時評議員会終結の時まで

◎うまぐりの里苦情解決第三者委員

上野知哉(再任) 菅谷斉(再任)

任期:令和5年7月1日～令和7年6月30日まで

これまで法人運営にご尽力賜りました片柳元理事、亀田元監事には大変お世話になりました。



お祝い 佐々木竜也支援員が4月6日ご結婚されました。末長いお幸せをお祈りします。

お悔やみ ご冥福をお祈り申し上げます。

相談支援専門員川島真智子氏実父 田代功様(享年71歳)5月13日逝去
うまぐりの里監事内海裕介氏義父 大池清朗様(享年74歳)5月23日逝去

寄付金報告について ご支援に深く感謝いたします

◎法人第2グループホーム建設準備のため	総額	450,336円
評議員 小倉治雄様		10,000円
ゆーあい工房保護者会様		400,000円
ゆーあい工房まつり実行委員会様		21,330円
保護者 小川親雄様		20,000円
「四季を感じる作品展」来訪者様		9,036円
◎法人運営のため	総額	85,000円
中村美知子様		30,000円
ゆーあい工房友の会様		55,000円



法人本部、障害福祉サービス事業所ゆーあい工房
相談支援事業所めだか

〒328-0033 栃木市城内町2-62-14

TEL 0282-25-4001

Fax 0282-25-1575

E-mail yu-aikoubou@cc9.ne.jp

ホームページURL: <https://www.umagurinosato.com/>

共同生活援助事業所なごみの家

〒329-4412 栃木市大平町北武井655-3

TEL・Fax 0282-21-7800

●編集後記●

ようやく新型コロナと共存しながらの日常生活が再開しましたが、国外では侵略という戦争が長引き、心弾むようなニュースはなかなか届きません。

関係各位、夏の暑さを吹き飛ばしてくれる利用者の笑い声に励まされながらこの夏を乗り切りましょう。

●編集スタッフ●

うまぐりの里常務理事	中村君枝
ゆーあい工房支援員	川島真智子
ゆーあい工房支援員	佐々木竜也
ゆーあい工房事務担当	長澤朋恵

